

令和 8 年度 第 1 回医療安全監査委員会議事要旨

日 時 令和 8 年 6 月 18 日 (木) 13:00～14:30

場 所 浜松医科大学医学部附属病院 多目的ホール

出席者 熊田恵介委員長、坪佐恭宏、小島崇宏、大磯義一郎、左右田泰丈の各委員

陪席者 竹内病院長、三澤医療安全管理責任者(副病院長・医療安全管理室長)、中島医療機器安全管理責任者(副病院長・医療機器管理部長)、川上医薬品安全管理責任者(薬剤部長)、五島医療放射線安全管理責任者(病院長特別補佐・放射線部長)、小泉副室長、川島副室長、阿部ゼネラルリスクマネージャー(以下:GRM)、八木 GRM、山田 GRM、鈴木(祥)GRM、大関 GRM、江間副臨床工学技士長、正木事務局次長、毎田病院総務課長、服部医事課長、揚張病院総務課課長補佐、清水医事課長補佐、山本医療安全推進係長、大須賀医療安全推進係主任、江間医療安全推進係員

議事に先立ち、病院長及び陪席者の紹介並びに挨拶があった。

また、前回議事要旨について確認が行われ、原案どおり承認された。

《議事》

報告事項

1. 医療安全管理室の患者安全に係る取り組みについて

阿部 GRM から資料 1 に基づき、前回委員会にて報告された類似名称薬剤に係る誤投与事例について、改善策の実施状況並びに関連学会における報告及び注意喚起の提言に関し説明があった。

続いて、小泉副室長から、院内基準(A・B・C 類型)に関する検討結果の報告があり、大量出血については術式別にカットオフ値を設定し基準化したほか、光線被曝及び手術時間超過についても報告基準を整理し運用を開始した。また、部位誤認等の事例を踏まえ臨時リスクマネージャー会議を開催し、仕組みによる再発防止策の検討を行った。さらに、事例検討及び心理的安全性に関するミニレクチャーを導入し、医療安全に関する意識向上に向けた取り組みが報告された。

委員からは、室員交代後の短期間での多岐にわたる取り組みを評価する意見があり、あわせて現場負担とのバランスや継続的な運用の重要性についても意見が示された。

2. 医療安全管理委員会の活動状況について(令和 8 年 1 月～令和 8 年 5 月)

川島副室長から資料 2 に基づき、医療安全管理委員会において、インシデント及び死亡報告の共有による発生状況の把握並びに重篤事例(3b 以上)の分析及び再発防止策の検討が継続的に実施されていることについて説明があった。

あわせて、院内基準(A・B 類型)の周知や医療安全ラウンド結果を踏まえたマニュアル認知及び患者確認手順の徹底等に関する取り組みの実施状況について説明があり、適切に実施されていることを確認した。

3. 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品、未承認新規医療機器を用いた医療提供について(令和7年4月～令和8年3月)

八木 GRM から資料 3 に基づき、高難度新規医療技術について、令和 7 年度は 5 件の申請があり、このうち 4 件が承認、1 件が取り下げとなった旨の報告があった。また、承認技術については症例報告の提出を求める体制としていること、過年度承認技術に係る合併症報告についても適切に対応されていることが説明された。

未承認新規医薬品及び未承認新規医療機器については、新規申請がなかった旨の報告があった。

委員からは、高難度新規医療技術の審議体制は適切に確保されているとの意見があり、新規技術の拾い上げの重要性についても認識が共有された。

4. 入院患者の死亡事例の報告について(令和7年4月～令和8年3月)

小泉副室長から資料 4 に基づき、入院患者の死亡事例について、全体の発生状況及び医療起因性並びに予期の有無による分類状況について報告があった。あわせて、重篤事例については M&M カンファレンスによる検証及び外部検証を実施している旨の説明があった。外部検証事例については、検証結果を踏まえた再発防止策として、高難度手術における診療科横断的連携体制の強化、並びに対象診療科における定期的なカンファレンスへの医療安全管理室の参加等が行われている旨の説明があった。

委員からは、重大事例に対する検証について適切に実施されているとの評価が示されるとともに、インフォームド・コンセントの在り方や事故調査報告書の記載方法について意見交換が行われた。

5. 死産事例の報告について(令和7年4月～令和8年3月)

小泉副室長から資料 5 に基づき、令和 7 年度の死産事例の報告について説明があり、医療安全管理部門に適切に報告・検証されていることを確認した。

6. インシデント・転倒転落集計の報告について(令和7年4月～令和8年3月)

阿部 GRM から資料 6 に基づき、インシデント報告については、報告件数は前年度と同程度で推移しており、医師からの報告割合向上に向けた取り組みが行われている旨の報告があった。また、転倒・転落についても、発生状況は前年度と同程度で推移しており、外来患者における発生増加傾向を踏まえ、外来部門へのフィードバックが行われている旨の説明があった。

これを踏まえ、身体拘束との関連を含めた転倒予防の取り組みの整理や、外来における環境要因等への配慮の重要性について意見交換が行われた。

7. 医療安全に関する研修の受講状況について

山本係長から資料 7 に基づき、医療安全に関する研修の受講状況について説明があり、医療法に則り適切に実施していることを確認した。

8. その他

- 医療安全ニュースおよび医療安全啓発ポスターについて

阿部 GRM から資料 8 に基づき、医療安全ニュースおよび医療安全啓発ポスター等を用

いて院内へ周知していると説明があった。

- 医療安全地域連携加算について

令和 8 年度の診療報酬改定に伴い、特定機能病院においても医療安全地域連携加算の算定が可能となったことから、各地域における連携体制の構築状況について情報交換が行われた。

- 次回開催日程について

第 2 回医療安全監査委員会は、令和 9 年 2 月 18 日(木)に浜松医科大学医学部附属病院多目的ホールにて開催予定である。

《講評》

委員長から、外部監査委員会を行った結果、安全管理は適切に行われているとの評価があった。